

IT学習Webアプリが進化しました

JOHO-BOX

「情報」の学習をより楽しくする
ITのプロが開発した教材です

NEW

高校「情報Ⅰ」のスキルアップ

IT資格が進学・就職を有利に

基本情報技術者試験

ITパスポート試験

JOHO-BOX

高専連携で
(eラーニング提携)
無償提供

オススメ6ポイント

01

IT教育のプロが作った教材

システムエンジニアやプログラマを育成し、毎年、全国トップクラスのIT系試験の合格者数を誇る「電子開発学園」が作り上げたアプリです。

02

スマホでいつでもどこでも

インターネット環境が整っていれば、学校の教室外でも、スキマ時間でも、好きなときに学習が可能。生徒各自のペースで先に進めます。

03

AIが力量に合わせてサポート

学習履歴をAIが分析し、力量に合わせた問題を出してくれるので、勉強のしやすさは上々です。JOHO-BOXの新機能です。

04

2つの国家試験合格のノウハウを提供

経済産業省が認定する国家試験であるITパスポート試験と基本情報技術者試験の合格ノウハウを基にドリル形式で効率的に学習できます。

05

ゲーミフィケーションによる学習促進

思わずハマってしまう、ゲームに熱中する要素を取り入れ、学びへのモチベーションを高めます。苦手分野の可視化や達成感も得られます。

06

高校「情報Ⅰ」とITパスポート試験

ITパスポート試験は高校の「情報Ⅰ」に対応し、出題範囲やシラバスが見直されています。経済産業省の国家試験でITスキルの公的な証明となります。



大阪情報専門学校

〒537-0022 大阪市東成区中本1-5-21 TEL.06-6974-4611

さあ、はじめましょう。

ゲーム感覚で楽しく学んで資格取得!

<https://lms1.joho-box.edc.jp/>

ITパスポート試験の 学習を体験できます

※一部機能制限あり ※個人情報の登録なく体験できます

体験版

ユーザID : guest
パスワード : guest



タイムアタック

問題を解いたスピード、正解の数などからポイントを競います。全国ランキングなども表示され、ゲーム感覚で取り組みます。

動画学習

専門学校の講師がわかりやすく解説します(近日リリース予定)。

暗記カード

英単語の暗記カードをめくる要領で学習します(近日リリース予定)。

年度別・分野別の学習

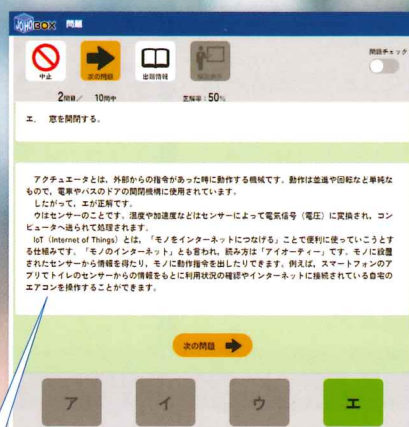
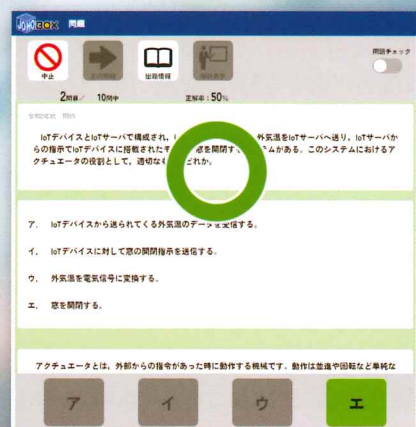
問題をさまざまな角度から出題。AIが実力に合わせてオススメ問題を出すほか、間違えた問題の絞り込みや、正解率の集計ができます。

マイページ

チェックリストを使い、気になった問題を検索して見直しができます。連続正解すると『王冠』を獲得できる機能もあります。

選択肢ボタンを押すと、すぐに正誤判定が行われます。

問題に続いて解説文が表示されますので、確認して「次の問題」に進みます。



単に正誤を表記するだけではなく、問題を解くポイントなどの解説が特長です。



学習者**全体**と生徒**個別**の

学習状況&理解度の見える化が 効率的な指導の鍵です！

一人ひとりの
伸びに合わせて
いてねいな
サポートを。

学習者全体管理

▶[ダッシュボード]画面

ログインすると、**ダッシュボード**が表示され、全生徒の平均学習時間や解答状況などが確認できます。

▼[ユーザ進捗一覧]画面

生徒ごとの正解率や、最終アクセス日時などが一覧で確認できます。「**詳細**」ボタンを押すと、個人の学習状況を表示します。

グループごとに
まとめて表示

「詳細」ボタン

学習者名

ITパスポート、基本情報技術者の
それぞれの正解率をグラフで表示

全生徒の学習時間に
関する情報を表示

一度でも学習したこ
のある生徒数

全生徒の解答数、
正解率等を表示

全生徒の学習時間、
アクセス数をグラフで表示
1週間/1ヶ月間/1年間の
期間の指定が可能

生徒個別管理

▼[ユーザ進捗詳細]画面

出題年度別、分野別の正解率を**進捗バー**で表示します。

表示中の学習者名

出題年度別表示では、
各年度の分野ごとの
正解率を表示

分野別表示では、
各分野の中分類
まで細分化して
正解率を表示

checkpoint

01 JOHO-BOXの 利用は無償です

eラーニング提携により無償で、生徒数分のIDを
発行します。生徒の個人情報は一切不要。アプリ
のダウンロードも必要ありません。
ご利用は、本校までお問い合わせください。

02 すでに**全国で利用** されています

これまで全国で291校の高等学校と提携し、多く
の高校生がIT資格試験にチャレンジしています。
<JOHO-BOXのID発行数(令和4年度)>
ITパスポート用:17,373 ID 基本情報用:13,763 ID



将来に役立つ「IT資格」を知ろう

情報処理技術者試験は、経済産業省が所管するIPA（独立行政法人情報処理推進機構）が実施するIT資格です。

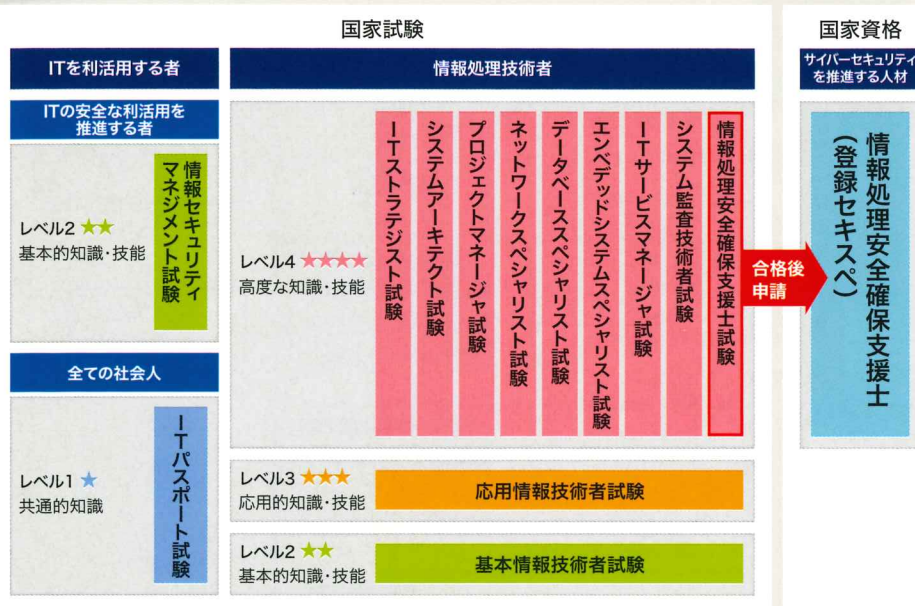
この試験では、国によってITの知識や技能が評価され、一度取得すると有効期限はありません。

また、国内での認知度が高く、国のお墨付きであるため、その信頼度も非常に高いIT資格と言えます。

13種のIT資格

IT資格(国家資格)は、全部で13種類の試験があります

難易度によってレベル1（基礎）からレベル4（高度）に分けられます。中でも高い難易度であるレベル4に位置する「情報処理安全確保支援士」は、サイバーセキュリティ対策を推進する人材のための国家資格です。この資格は、IT系の資格の中で唯一の登録制「士業」であり、無資格者はこの称号の使用が許されず、高い専門性を持つ資格として社会的に高く評価されています。



チェック!

電子開発学園 専門学校生の「情報処理技術者試験」取得者数データ

2022年度 在校生実績

レベル4 ★★★★★

情報処理安全確保支援士	121名
データベーススペシャリスト	27名
ネットワークスペシャリスト	14名
エンベデッドシステムスペシャリスト	3名
プロジェクトマネージャ	2名

レベル3 ★★★

応用情報技術者	415名
---------	------

レベル2 ★★

基本情報技術者	2,378名
---------	--------

(引用) IPA: 試験区分一覧 <https://www.ipa.go.jp/shiken/kubun/list.html>

進学や就職に有利なの?

IT資格は、進学や就職活動に有利です

IT系企業では、IT資格を取得している社員の人数によって技術力が証明されることもあるため、積極的に資格の取得を推進している企業が多くあります。IT資格が昇進や昇給の基準となったり、手当や報奨金がもらえることも少なくありません。また進学においても、入学試験の優遇や学費の一部免除といった優遇措置を受けられる大学や専門学校が数多くあります。

(参考) IPA: 情報処理技術者試験の大学活用校リスト <https://www.ipa.go.jp/shiken/about/jirei/daigaku/list.html>

高校生に、おススメのIT資格は?

初めてのチャレンジなら、ITパスポート試験がおすすめです

ITパスポート試験は、ITの基礎知識に加え、経営全般やプロジェクトマネジメントなどのIT以外の知識も身につけられる資格です。取得した資格は一生保証されますので、IT業界やエンジニアを目指している方はもちろん、まだ将来のやりたいことが決まっていない方にも、必ずプラスとなるITスキルの証になるでしょう。

(参考) ITパスポート試験は、高等学校の共通必修科目となった「情報Ⅰ」に対応した出題範囲やシラバスの改訂が実施され、プログラミング的思考力等の出題(疑似言語を用いた出題等)が追加されました。IPA: プレスリリース <https://www.ipa.go.jp/pressrelease/2021/press20211008.html>

IT次代を支える優秀なIT人材を育成しています

電子開発学園

名古屋情報メディア専門学校

広島情報専門学校

KCS大分情報専門学校



北海道情報専門学校



名古屋医療情報専門学校



KCS北九州情報専門学校



KCS鹿児島情報専門学校



新潟情報専門学校



大阪情報専門学校



KCS福岡情報専門学校



北海道情報大学